

令和4年度事業計画及び収支予算書

総 説

東京都交友会は、平成25年4月に一般社団法人に移行して9年が経過しました。この間、事務所の移転、所有不動産の売却、施設賃貸事業のための共同住宅の取得及び大規模修繕工事の実施など、様々な課題を解決しながら、順調に事業を進めてきました。

一方で、会員数の減少、行事参加者の減少と固定化、将来の財政への不安などの課題の解決に向けて、平成29年9月に設置した4委員会では対応策を検討し、実施できるものから実施してきているところ です。

また、一昨年春に発生した新型コロナウイルス感染症によって、交友会事業も中止や変更を余儀なくされるなど大きな影響を受けましたが、今後は感染症の収束状況を注視しながら、事業の再開、発展に向け、積極的に取り組んでいくこととしています。

こうした状況の中で、これからの交友会は、人生100年時代における退職者の交流の場として、その役割を果たすためにどうあるべきかについて、積極的に検討するとともに、事業の運営方法や内容の見直しなどの改善に努め、引き続き会員の期待に応えてまいります。

令和4年度の事業計画及び収支予算書は、以下のとおりです。

事 業 計 画

I 会員事業

1 定期総会、秋の大会の開催

(1) 定期総会を7月に開催し、会の現状や運営方針を会員と共有するとともに、長寿会員の祝賀を行う。また、懇親会を開催して、会員の交流・親睦を図る。

(2) 秋の大会を11月に開催し、東京の課題、歴史などで会員の関心の高いテーマについて有識者に講演をお願いするとともに、懇親会を開催して会員の交流・親睦を図る。

2 会報及び会員名簿の発行

(1) 会報は、会員相互の交流、親睦に資するため、年4回発行する。内容や誌面については、会報

編集・情報管理委員会などで継続的に見直しを行い、読みやすく、親しみやすい会報づくりを目指す。

(2) 会員名簿は、会員への重要なサービスと位置づけ、毎年度10月1日現在で発行する。

(3) ホームページは、事業の急遽中止や変更などの必要な情報をリアルタイムで提供するとともに、会員相互の交流の場として多くの会員の利用が図れるよう、普及促進する。

3 各種主催事業の実施

事業企画委員会での検討や会員等の要望を踏まえ、交友会にふさわしい行事を実施する。

会議室で開催する囲碁大会、都政報告会等の行事、次の4の相談事業、6による会議室の提供は、平成27年10月から交友会と一般財団法人東京都弘済会との共催による都政退職者等を対象とする文化事業として位置付け、会議室に係る賃借料等を両者で分担しており、本年度も引き続き東京都弘済会に共催と分担をお願いする。

(1) 都市施設の見学を主とし、バス等を利用する見学会を1回実施する。そのほか、一般財団法人東京都弘済会との共催によるバス旅行を1～2回実施する。

(2) 徒歩によるまち歩き見学会を5～6回実施し、そのうち3～4回は東京都弘済会との共催とする。

(3) 囲碁大会を秋と新春の2回、ゴルフ大会を春と秋の2回、麻雀大会を年数回実施する。

(4) 現役職員に都政の重要課題として取り組まれている事業について説明を聴く都政報告会と、会員の独自活動について話を聴く報告会をそれぞれ1～2回実施する。

(5) 人生100年時代を迎え、健康や病気のほかに長い人生の安心や充実のための取組みを対象とした、いきいき人生講座を実施する。

(6) 新年賀詞交歓会及び新入会員歓迎会を実施する。新入会員歓迎会は例年新年賀詞交歓会と同時開催としているが、新入会員がより多く参加できるよう開催方法等を検討していく。

4 相談事業の実施

毎月、法律相談及び税務相談を実施する。

当該相談事業は近年利用者が減少傾向にあるため、利用促進の方策について検討していく。

5 会員の慶弔

- (1) 定期総会において長寿者(令和4年中に満99歳、88歳、77歳となる者)に対する祝賀を行う。
- (2) 勲章の受章者に対し、会長からの書状により祝賀する。
- (3) 物故会員に対する敬弔は、会長からの弔意文を送付する。

6 各種サークル活動への支援

会員の自主的な運営による趣味等のサークルに対し、会議室の提供ほか必要な便宜を供与する。

7 会員企画事業の支援

会員が企画する会員向け事業の参加者募集に会報の誌面を提供するなど、事業実施を支援する。

II 公益助成等事業

一般社団法人への移行に当たり東京都知事の認可を受けた公益目的支出計画に定める事業などを実施する。

1 社会福祉事業等への助成

公益目的支出計画事業として、主として東京都内を対象として社会福祉事業等を行う団体に対し、寄付及び助成を行う。

2 公開講演会の開催及び関係団体との協力

- (1) 公益目的支出計画事業として、秋の大会において、一般公開の講演会を開催する。
- (2) 公益目的支出計画事業として日頃より都政等に関する調査、研究を行う。
- (3) 一般財団法人東京都弘済会と共同して事業を実施するなど、友好団体との提携に努めるとともに、その公益活動等に対し後援・協力をを行う。

III 施設賃貸事業

1 施設賃貸事業の運営

- (1) 施設賃貸事業用に取得した新宿区高田馬場の共同住宅(以下「賃貸物件」という。)は、令和3年に大規模修繕工事を実施したところで

あるが、今後はこれを適切に維持管理するため、必要な修繕を行う。

- (2) 新宿区に対する当該物件の一括賃貸の契約を継続し、新宿区との良好な関係を維持して、賃料収入確保に努める。

2 事業のあり方についての継続的な検討

交友会の財政基盤となっている施設賃貸事業は、事業活動を支える中心的役割を果たしているが、9年後には新宿区との契約が終了するため、将来の事業のあり方について、財務及び将来構想検討委員会を中心に、引き続き検討を進める。

IV 会務その他事務事業の執行

1 代議員会、理事会等の開催

- (1) 定期的な代議員会、理事会のほか、必要な場合には臨時の代議員会、理事会を開催する。
- (2) 常任理事会を定期的に開催し、会の運営を管理するとともに、問題が生じた場合には速やかに対応策を検討する。

2 課題検討の継続

平成29年度に設置した4委員会等で、交友会の課題を積極的に検討し、実施できるものから会の運営に反映していく。

3 入会勧誘活動の継続

会員数の減少傾向に歯止めをかけるため、会員確保委員会を中心に、効果的な入会勧誘活動を検討し、実施する。

4 大都市退職者団体との交流

大都市退職者団体との情報交換等を行い、交友会の発展に資するものとする。

5 事務執行体制の整備

少人数でも的確で効率的な事業運営ができるよう、事務執行体制の整備に努める。

令和4年度収支予算書

※この会報では、概要を掲載します。

1 令和4年度正味財産増減計算書(予算)の概要

(単位:千円。千円未満四捨五入)

科 目	令和4年度予算	参 考	
		前年度(当初)	増△減
経常収益	37,641	38,546	△ 905
経常費用	50,395	72,277	△ 21,882
事業費	43,116	64,772	△ 21,656
管理費	7,278	7,504	△ 226
当期経常増減額	△ 12,754	△ 33,731	20,977
法人税、住民税及び事業税	2,000	70	1,930
当期一般正味財産増減額	△ 14,754	△ 33,801	19,047
一般正味財産期首残高	718,859	744,468	△ 25,609
一般正味財産期末残高	704,105	710,667	△ 6,562

2 経常収益の主な内容

正会員受取会費 2,500千円(対前年度500千円減)

その他受取会費 1,400千円(対前年度200千円減)

施設賃貸収益 28,900千円(増減なし)

弘済会分担金 2,670千円(対前年度10千円減)

給料手当 9,600千円(増減なし)

光熱水費 1,300千円(増減なし)

建物管理費(施設賃貸事業) 1,560千円(増減なし)

地代家賃 9,200千円(対前年度100千円減)

固定資産税(施設賃貸事業) 2,000千円(増減なし)

3 経常費用の主な内容

会報費 3,140千円(対前年度140千円減)

諸事業費 1,600千円(ほぼ増減なし)

総会及大会費 3,000千円(対前年度200千円減)

支払寄付金 900千円(増減なし)

修繕費(施設賃貸事業) 3,600千円(対前年度21,000千円減)

減価償却費(主に施設賃貸事業) 5,000千円(増減なし)

賃借料 1,700千円(対前年度100千円増)

※ 修繕費の減は、「かぶらや」の大規模修繕工事が、令和3年5月末に完了したため。法人税等は、繰越欠損金を見込んで計算したもの。